

## 【印象深かった出来事】

最近、印象深いと感じた出来事について、具体的に述べなさい。

### 【答案例】

私が、最近印象深いと感じた出来事は、大学3年生の夏、〇〇市役所の広報課でインターンシップを行った際の経験である。

私は、父が市役所職員であった事から、幼少期より、公務員の業務内容や、そのやり甲斐について話を聞く機会が多く、私自身も、将来、公務員として活躍することが夢であった。そのため、大学では法学部に入学し、公務員として働く上で必要となる「地方自治法」を専門的に学んだ。一方で、あくまでも、父の話や授業を通してでしか行政に関する知識がなく、その業務内容が具体的にイメージできていない面もあった。そのため、私は、行政の実際の現場を学んでみたいという思いから、上記のインターンシップに参加することにした。

私は、市の広報課に配属となり、様々な業務に携わらせて頂くことができたが、中でも特に印象深かったのは、「外国人居住者への情報提供」という課題に対し、職員の方と一緒に取り組んだ経験である。〇〇市は、県の中でも、特に外国人居住者が多い地域であるため、市役所でも、外国人が快適に暮らせるよう、数カ国語の広報誌を作成し、積極的に情報提供を行っていた。しかし、そうした努力にもかかわらず、外国人と近隣住民との間で、ごみの分別等の生活マナーを巡ってのトラブルが絶えず、市にしばしば苦情が寄せられていた。そのため、市は、この問題を解決するため、外国人が多く住む地域に調査をしに行く事になり、私も同席させて頂くこととなった。

私達は、現地で多くの外国人から話を聞いているうちに、ある事実が確認できた。それは、外国人は、言葉の壁等の理由から、市役所には足を運びづらいが、その一方で、外国人仲間が集まるコミュニティ広場には頻繁に足を運び、そこで外国人同士で市政の情報交換をしている、というものであった。そこで私は、職員の方に「そのコミュニティ広場に、市の広報誌を置いてもらうのはどうでしょうか」と提案した所、同意を頂くことができた。そして、職員の方々とともに、関係部署との調整を行い、上記提案を実現することができた。

この経験から、私は、地域の問題を解決するためには、現場に足を運び、住民から「生の声」を聞くことの重要性を学んだ。現場をよく観察し、人々の声に誠実に耳を傾ける事で、真の課題と解決策を見つけることができる。私は、この経験を忘れず、〇〇市職員として、市民の声に誠実に耳を傾け、全ての市民が、快適に暮らせる地域社会をつくっていききたい。

以上